



九州志

ル 4
1060
1





航測志卷之二 國法部目錄

古制

要則名數

制札

記里枕

譯路

所在干國界之村里之石

以碑事及期限

圖地制依

諸種假設之付本

門名
號 1060
卷 1-2



飛州志卷第之二國法部目錄

古制

要関名數

制札

記里リ杭キ

驛路

所在干國界之村里之名

收婢事人期限

鐵炮制限

年稅雜穀之代米

燒鳥 ヤキハタ

忌鐵山洞

稻之束數考

私呼 シカ

橋

坂

木

森

水

蘇龍 蘇龍公卷其之二圖其時日疑



淵 今來州名各品皆同名

巖 蘇州西名

石 蘇州西名

田

物產

村木名品 羊通稱 附 瑕疵通稱

榑木名品 羊通稱

村木榑木出佗州運漕之通稱 羊中綱之製

筏之製 蘇州西名

白木品類 蘇州西名

楮 羊 造紙 名品

蓄 蚕 通稱 羊 種子 名品

絲 羊 綿 附 飛 驒 細 涼 袴 之 製

批 目 細 工

茶

藍

鷹

金 銀 銅 鉛

柴 薪 附 國 名

炭

飛 龍 今 藥 州 名 品 附 國 名

燭 燭 燭

蠟

漆

膏 油

上 陶 器

魚 菓 菜 穀 稱 地 名 類

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

飛州志卷第二 國法部

○要関名數

本土今所在之関數三十一通稱口所留番國界或ハ往來人

要路ニ建テ土著ノ役人各交代シテ守之是自他國ノ僧

俗男女ノ出入ヲ改メ商賣ノ諸品ハ悉ク其負數ヲ正シ運

上ヲ納メリ通稱口役銀是古來定法ノ壁書アツテ汝法セリ

故ニ州内ヨリ出ルモノハ高山國府ニ集メ治所ニ新工各

運上ヲ納メ印證ヲ得テ通行セリ通稱切手或ハ其地名

ヲ載ス ○下原口益田郡中切村ニアリ自是濃州金山町ニ

出ル ○福來口フクライ同郡福來村ニアリ自是濃州田島村ニ出

古今飛州年名品新圖

ル ○門和佐^{アトワサ}口 同郡門和佐村^{アリ}自是濃州佐見村^{出ル} ○御^ミ鹿^カ野^ノ江
同郡御鹿野村^{アリ}自是濃州小郷村^{出ル} ○門原^{カドノ}口 同郡門原村^{アリ}
自是濃州岩谷村^{出ル} ○大^{オホ}洞^{イロ}江^ノ 同郡小川村^{アリ}高山^ヨ
リノ中^{ナカ}関^{セキ}也 ○上^{ウヘ}馬^{ウマ}瀬^セ口 同郡中切村^{アリ}自是濃州小川村^{出ル}
○下^{シモ}馬^{ウマ}瀬^セ口 同郡西村^{アリ}自是濃州^{ナガノ}懸^ケ村^{出ル} ○上^{ウヘ}个^コ洞^ノ口 同郡上
ヶ洞^{ウケノ}村^{アリ}自是信州川浦村^{出ル} ○渚^{ナギサ}口 大野郡渚村^{アリ}高山^{アリ}
ノ中^{ナカ}関^{セキ}也 ○山^{ヤマ}之^ノ口 同郡山之口村^{アリ}高山^{ヨリ}ノ中^{ナカ}関^{セキ}也 ○阿^ア多^タ粕^{ロク}口
同郡阿多粕村^{アリ}高山^{ヨリ}ノ中^{ナカ}関^{セキ}也 ○大^{オホ}原^{ハラ}口 同郡大原村^{アリ}自
是濃州大原村^{出ル} ○寺^{テラ}河^{カハ}口 同郡寺河村^{アリ}自是濃州霞
村^{出ル} ○野^ノ野^ノ候^{コウ}口 同郡野^ノ候^{コウ}村^{アリ}自是濃州鷲^{シウ}見^ミ村^{出ル}

○牛^{ウシ}首^{カビ}口 同郡牛首村^{アリ}自是越中国大^{オホ}助^{サツ}場^バ村^{出ル} ○小^コ白^{シロ}川^{カハ}口
同郡小白川村^{アリ}自是越中国赤尾村^{出ル} ○椿^{ツバキ}原^{ハラ}口 同郡椿原村^{アリ}
高山^{ヨリ}ノ中^{ナカ}関^{セキ}也 ○羽^ハ根^ネ口 吉城郡羽根村^{アリ}自是越中国水無瀬村^{出ル}
○二^ニ屋^ヤ口 同郡二屋村^{アリ}自是越中国長谷村^{出ル} ○小^コ豆^{マメ}澤^{サハ}
口 同郡小豆澤村^{アリ}自是越中国蟹^{カニ}寺^ジ村^{出ル} ○加^カ賀^カ澤^{サハ}口 同郡加
賀澤村^{アリ}自是越中国加賀澤村^{出ル} ○中^{ナカ}山^{ヤマ}口 同郡中山村^{アリ}自
是越中国蟹^{カニ}寺^ジ村^{出ル} ○荒^{アラ}田^タ口 同郡横山村^{アリ}自是越中国借谷村^{出ル}
○茂^モ住^ジ上^ノ口 茂住下口 同郡茂住村^{アリ}自是越中国長棟村^{出ル} ○
跡^{アト}津^ツ川^{カハ}口 同郡跡津川村^{アリ}出^デ所^ノ同^ノ上^ノ ○山^{ヤマ}野^ノ口 同郡下本村^{アリ}
自是越中国有峯村^{出ル} ○和^ワ佐^サ保^ホ上^ノ口 和佐保下口 同

郡和佐保村アリ高山ヨリノ中関也 ○平湯口 同郡平湯村
アリ自是信州大根川ニ出ル 以上国畧ノ村名兩國同稱ナルヲ
アリ此類国界ニ同アルト可知

○制札

本土今所在ノ制札ノ名目ヲノス ○忠孝 ○毒藥

○人賣買 ○切支丹 ○駄賃 ○火附者 以上六札アリ

文訶ハ畧之國府小府ヲ始メ凡テ驛路ノ村里毎ニ建之其
餘ノ村里ニ於テハ切支丹火附ノ西札ヲ建來レリ

○記里杭

本土ニ於テスヘテ往還ノ驛路其一里毎ニ建ル處ノ杭ナリ
是則他州ニ於テ一里塚トイフニ同シ元來州内ノ道路

狹窄ナルハ路傍ニ塚ヲ築クヘキ地少シ故ニ杭ヲ建テ其
里數ヲ誌シ道ノ左右ニ備ヘリ所謂其銘

從高山何里

凡テ高山ノ國府ヲ中央トシテ東西南北ノ四道是ヨリ
分ル行裡充國府ヨリ計リ各國畧ニ至リ終レリ其一里ト
稱スルハ多ク五十町ヲ用ニ來ルト見エタリ

○驛路

本土ニ於テ隣國往來ノ本道四道アリ東ハ阿多野筋日

和田通野麥通ト稱ス南ハ益田筋竹原通下原通馬瀬通
依美通白川通郡上通ト稱ス西ハ川上筋白川筋ト稱ス北ハ
下山中筋越中通ト稱セリ各其頓路ノ村里ヲノス所謂○
東道 国府高山町江名子村山口村辻村見座村甲村万石村
上見村大廣村黒川村尾瀬カ洞村赤生谷村猪鼻村中宿村
下白村日影村上力洞村阿多野村日和田村 以上阿多野筋日和田
通也自是深州関屋
出ル ○南道 国府高山
町石浦村宮村山梨村久々野村無数河村引下村木賊洞村
長渡村渚村門坂村小坂町村坂下村宮田村奥田洞村上呂村
萩原町花池村中呂村東上田村湯島村小川村兼政村宮

地村野尻村御鹿野村 以上竹原通也自是
深州加子母村出ル 宮地村夏焼村田口村門
和佐村 以上佐美通也自是深
州佐美郡吉田村出ル 湯島村少箇野村三原村門原村保井
戸村 以上郡上通也自是深
州郡上郡岩屋村出ル 保井戸村瀬戸村和佐村福來村中津魚
村大船戸村 以上白川通也自是深
州白川郡田島村出ル 瀬戸村三洞村中切村下魚町
渡村 以上上下原通也自是
深州金山町出ル 国府高山町宮村山之口村尾寄村中
切村 以上馬瀬通也自是
深州小川村出ル 尾寄村野上村羽根村名丸村井谷村
總島村西村下山村 以上郡上通也自是
深州弓懸村出ル ○西道 国府高山町
上岡本村春国村新宮村三日町村牧箇洞村藤瀬村福寄村
三谷村坂村有巢村二俣村中野村楠谷村大原村 以上河上筋
也自是深町
出ル 国府高山町牧箇洞村夏鹿村上小鳥村六鹿村三尾

河村寺河戶村黑谷村總則村袋丸村新瀨村町屋村野保

村以上白川筋也自是濃川鷺見村也新瀨村中畑村牧戶村牛丸村岩瀨村赤谷

村中野村海上村尾神村福島村牧村御母衣村平瀨村保

木服村野谷村大牧村鳩谷村椿原村以上白川筋也自是越中川加須良村也鳩谷

村飯島村内箇戶村椿原村小白川村以上白川筋也自是越中川赤尾村也北道

国府高山町七日町村相生村本母村下切村三川村廣瀨村廣

瀨町村是重村小府古川町杉寄村架波衣北村野口村大無

雁村小無雁村角川村中澤上村保木村有家林村羽根村

落合村岸奥村野首村林村牧戶村丸山村三河原村赤保村

以上下山中筋越中通也自是越中國水無村也角川村二屋村以上越中通也自是越中國長谷村也大無雁村

戶谷村小野村桑筒谷村杉原村小豆澤村以上越中通也自是越中川小豆澤村也

出ル但シ荒越ニ州トモニ小豆澤村アリ此類国界ニ間アル下也

○所在国界村里之若

本土、美濃信濃越中加賀越前、五洲ニ分レリトイハ

トモ加賀越前、二州工ハ頓路ノ村里ナリ故ニ濃信越中

其国界ニアル地名ヲ載ス ○益田郡下原町自是濃川金山

町ニ ○月大船渡村自是濃川田島村也 ○月門和佐村自是濃川小野村也

○月保井戸村自是濃川岩屋村也 ○月下山村自是濃川宇野原村也 ○月西村自是濃川宇野原村也

○月中切村自是濃川小川村也 ○月御廐野村自是濃川小野村也

○同野麥村自是信州川浦村也 ○月日和田村自是信州國屋村也 ○大野郡大

原村自是濃川坂本村宛 ○月寺河戸村上日 ○月野俣村自是濃川水澤村ニ出ル

○月小白川村自是越中川赤尾村ニ出ル ○月牛首村自是越中川大高場村ニ出ル

○古城郡加賀澤村自是越中川加賀澤村ニ出ル但シ飛騨中トモニ加賀澤村トイハリ ○月羽根村自是

越中川水無村ニ出ル ○月二屋村自是越中川切詰村ニ出ル ○月小豆澤村自是越中川小豆澤村ニ出ル

出ル但シ飛騨越中トモニ小豆澤村トイハリ ○月谷村自是越中川鑿寺村ニ出ル ○中山村自是越中川楷谷村ニ出ル

○横山村自是越中国楷谷村ニ出ル ○杉山村自是越中川長棟村ニ出ル ○月丸右村上日

○大和多村自是越中国百峯村ニ出ル ○和佐村上日 ○平湯村自是信州大根川村ニ出ル

○双俣事人期限

本土ノ民間ニ於テ双俣ヲ仕フノ期限アリ各其期月ヲノス ○益田郡ハ二月二日ヨリ同年ノ八月二日ニ至ル又八月

二日ヨリ翌年ノ二月二日ヲ限リトス是半季也 ○大野郡吉

城郡ハ十二月ヨリ翌年ノ十二月ヲ限リトス是一季也 ○大

野郡国府高山町ハ二月二日ヨリ翌年ノ二月二日ヲ限リ一

季トセリ

○鐵炮制限

本土ニ於テ今所在之鐵炮總算九百十七挺アリ所謂獵

師鐵炮ラトシ威鐵炮也其制限ノ法ヲノス ○獵師鐵炮七百

三十四挺ハ州内ノ民古來持傳エテ所用トスル處也其一

挺毎ニ治所ノ印札ヲ以テ證トス ○威鐵炮百八十三挺

ハ州内ノ村里ニ預リ來ル處ニテ全ク獵用之為ニハアラス

是鳥獸ノ田畠ヲ荒シ作毛テ食フ損害ヲ感ニ退ルニテニ
玉ヲ用イス打放リテニ用エ故ニ冬ハ悉ク是ヲ治所ニ納メテ
官庫ニヲク毎歳二月ニ至レハモトノ村里ニ返シ渡シテ九月
ニテハ放ツテ許スヲ法トス又總負數ノ外ニ取上鐵炮ト
稱スルモノアリ是ハ元來民ノ所持タリト云ヘトモ悉ク是
等ノ損失セシモノ類私ニ修補ヲ加フルテ制禁タルニヨツテ
則官庫ニ藏メタルモノ也並ニ鉄炮ヲ持傳ヘタル民死亡セシ
トキ是ヲ讓リ傳フヘキ子孫或ハ親族モナキニ至ツテハ同
ク取上テ官庫ニ藏ルル法也

○年稅雜穀代米

本土ハ凡テ平陸ノ地少シ猶山奥ニ至ツテハ皆畠ノ村里
多シ故ニ精米其地ニ乏シク他ノ精米ノ價ヲ用イ金銀ヲ以
テ負納スルヲ石代金納ト稱セリ 總テ石代金銀納ノ法ハ諸州トモニ同シ 然ルニ是ヲ
以納スルニ期月ノ法アリ似テ其期月ノ際限ニ至ツテ民
ノ難法セカハタメニ定メタル古法也則秋成ノ最初ニ其地
ニ於テ民ノ作り出セル雜売ノ類何トイフニハ限ラス其民ノ
年貢ノ石數ニ應シテ法ノ如ク納メカセテ郷藏ニヲケリ 郷藏
トイフハ村數トモニテ組合テ具タコリコトナリトモニ建テ
是ニ集メ自是治所ノ官庫ニ運送スル也故ニ齊藏トモニヘリ 其雜売ヲ以テ精米
ニ云ルル處ノ國法ヲノス ○稗一斗精米三升ニ充 ○蕎麥一斗
精米五升ニ充 ○粃一斗精米五升ニ充 ○大豆一斗精米ノ六升

二元 ○小豆一斗精米七升元 ○粟一斗精米一斗ニ
元以上 是本土古今ハ法也則如此雜穀ヲ以テ年税ヲ償イ
是ヨリ期月ニテノ間ニ村民各正金銀ヲ調畧シテ治所ニ納
メリ於テ茲初メ御藏ニテク處ノ雜穀ヲ出シモトノ村里ニ
返レ渡ス一也誠ニ古法ト可謂歟

○燒畠

本土山奥ノ邨里ニ於テハ甚田畠之ニキカ故ニ深山溪間
トイヘトモ彼池偏頗ノ地ヲ益シテ燒作レリ号シテ燒畠
トイフ是也尤用村ニ伐出スヘキ生木モナク無差ノ山
潤ヲ以テ是ニ元リ其反別ハ在ツテ高ハナシ其年

税ノ法ハ精米ヲ以テ定メテ金納トセリ其燒畠一反歩ハ
ニ反歩ノ以テ是ニ元ルヲ古ノ法トス地餘歩ヲ号シテ伐替
畠ト稱スルヲ燒畠ヲ作ルハ田畠ノ畝ト云フ區界ヲモ作ラ
ス其種子ヲコクモ地ノ限り畠石ノ間ニテモ振蒔ト云フニ
成セリ猶作込下ニ載ス ○凡燒畠ヲ作ルハ先ツ其
地ニ生ズル處ノ艸木ヲ秋ニ至リ悉ク刈倒レテ其地ニ
捨置クナリカテ明年ノ春雪ノ漸ク消タレトキニ火ヲ放リ
テ其枯タル枝葉ヲ燒ク則其灰ヲ藪トナレテ稈ヲセク也
後其實ヲ得ルトキ稈ノ穂ハカリヲトリテ元ヲハ其地ニ
残セリ是猶翌年ニ燒テ元用エヘキノ為也 ○翌年

ハ前年刈残シ置タル處ノ稗ノ穀ヲ燒テ其灰ヲ糶トシ
テ粟ノ作レリ實ヲ得ルトキ穀ヲ残ス一稗ニ同シ則其
翌年モ又粟ノ壳ヲ燒テ其灰ヲ糶ノ用イ蕎麥ヲ作ルヲ終
リトス是大槩也故ニ此三種ニモ限ルハカラス其土地ニ應シテ外
ノ種子ヲモ作ルト可知 ○以上三年ニ至レバ其地既ニ波テ
種子實ノラズ或ハ蕎麥ハ穀モ其地ニ残ラザレハ燒クベキ糶モ
ナレ仍テ其地ヲ捨テモトノ如ク州木ヲ立ル一凡三年其
四年ニ至ツテ又立戻リ前條ノ如ク成レ作ルヲ燒昌ノ法ト
スル也故ニ伏羲島ト号シテ初メ一倍ノ餘歩ヲ無フル一此時
地ハ休ムト云ヘトモ伏羲島ヲ以テ法ノ如ク作リテ民ノ夫食テ

モ失ハズ年税尤急ル一ナカラシメンガ故ナリ此外作モノ熟ス
ヘキ地ハ新田昌或ハ見取田昌ト稱シテ作ルモ悉佗州ニ等シ
ト云ヘトモ是ラハ必ス燒昌ノ例ニハ非スト可知也 ○倭漢
三才圖會卷五十六曰 廣額云 畷火田也 不耕而火種也
漢語鈔云 橫截山作昌 謂之截幡 其先燒後耕 謂之燒幡 既
謂田疇何不耕作 下畧

○忌鐵山間

本土ニ於テ古來鉄ヲ携往來致ハヌ一ヲ禁忌トスル山
間アリ但シ太刀刀鎗長刀ノ類ハ其障リナレ其餘ハ鉄鉾
ヲ始メトシテ 鉄鎌鋤釜ノ忌メリ其地名ヲ載ス ○位山

大野郡久野郷ニアリ ○白川郡内郡ニアリ ○文道寺峠
吉城郡小鷹利郷三河原村ニアリ ○千貫橋内郡高原郷
横山村ニアリ ○大坂原内郡吉城郷八日町村ニアリ 以上 按スルニ
禁忌來由未詳里民モ其地主ノ神或ハ其山神ノ祟リアルト
心得稱スル而已也然レトモ強テ通行スルトキハ必ス其地大
風吹出或ハ氷ヲ降シ或ハ不時ノ寒冷來ツラ作毛損亡ノ
凶事アリト云ヘリ故ニ古來ノ俗習ニテカセテ各首夏ヨリ
晩秋ニ至ルニテハ通行ヲ止メ他ノ道路ヲ往來スルノ古今
ニ至レリ

○稻之東數考

本土ニ於テ未ヨリテ一東ト稱ルノ法也是上古
ハ田ニ石計及別ナク町數或ハ稻ノ東數ヲ以テ稱
スル處古記ニ見エタリ然レトモ其一東ノ法ガ於テハ
詳ナラサルカ 按スルニ此州ノ民ハ今世モ專ラ東數ヲ
稱スルモノ多シ既ニ己カ所持スル田畠ノ高及別ヲハ
分明ニ心エズレテ何百東州ノ地何十東州ノ田ト云
ヘリ年毎ノ稻ノ豊凶ヲ語ルモ五東州ノ田ヨリ六東
ヲ得或ハ四東ニ及ハズナント云ク民ノ通語タリ但シ
上古ヲ疑ヘサレハ此州ノ法ト云ヘルモ是ニアタルヘキヤ其
可否ヲ知ラス唯州内一般ノ習風タルガ故ニ若古風ノ

遺在セリモノカ其大音ナ載マ ○稻一把ハ農夫ノ鎌
ヲ以テ刈揚ル其掌ノ中ノ一握ナルモノ三ツヲ合セテ一把
ト稱セリ是ヲ糶ルニハ外ニ稻ニ株ヲ刈テ稻ホノ方ヲ
結ヒテ繩ノ代リト成シ糶ル也尤此繩ノ代リトセシ穂モ同
シク一把ノ數ノ數ニ入レリ民ノ通稱是ヲ三斗内一把ト
云ヘリ此一斗ト云イ一握ト云フハ大指ト中指ニテ握ラル、
ニテヲ限リトス俗中指ヲ六寸指トモ云ハ一斗ハ凡六寸圍
ホドニシテ一把ヲ圍凡一尺六寸五分ナル歟刈揚ルニハ婦女
モ是ヲツトメヌレハ大中小人ト平均レテ自ラ中人ニ當ル
ナルヘレ ○稻一束ハ前條ノ一把十數ヲ以テ一束ト稱セリ

故ニ稻ヲ始メ草木ニ至ルテモ總テ一把ト稱ルトキハ必ス此
法ヲ用ル也或曰古昔稻六十束ノ地ヲ以テ一及歩ト定メ
六十束ニ不及地ヲ中下田トスト云今世ノ民ハ此一斗一握ノ
掌中ニ甚ク異様ヲ巧ミテ斗ヲ追テ古法廢レシトセリ是
下民ノ私ニシテ全ク一把ノ稻ヲ増シテ其田ノ束數ヲ減シ他ニ
見スベキノ為ナルヘシ又越中ノ人ノ語リケルハ稻一把ハ三斗
ノ用ニ一束ハ其十二把ヲ以テ糶子ルトナリ濃州ノ民ハ古
法三斗ヲ以テ一把トレ十把ヲ以テ一束トストイヘトモ今世ハ
三斗半或ハ四斗ヲ用イ敢テ法ニ拍ハラズトイヘリ

○私呼橋

本土於テ其地ノ民古ヨリ稱シ來ル處ノ号アルモノヲ載

ス以下各可唯知之 ○古馬場橋 益田郡宮地村ニアリ往古城アリト云馬場ノ橋ナリ ○保井

戸橋 戸郡保井村ニアリ ○盲女橋 戸郡上見村ニアリ或ハ御前橋トモ云 ○道河橋 戸郡日影村ニアリ

○今井橋 戸郡真田村ニアリ ○渚橋 戸郡渚村ニアリ長九余間棧道ニ造ル ○アサムツノ橋 戸郡小坂村ニアリ

町村ニアリ小坂ノ橋トモ云長九余間棧道ニ造ル ○松尾橋 戸郡日影村ニアリ ○阿多粕橋 戸郡阿多粕村ニアリ ○中橋

大野郡高山 ○鍛冶橋 戸郡或ハ兵 ○助六橋 戸郡

土橋 戸郡 ○筋違橋 戸郡 ○楠橋 戸郡七日町村ニアリ楠木ヲカケタル故ニ此号アリト云 ○鳥屋橋

戸郡日向 ○清水橋 戸郡旗舞村ニアリ ○白木橋 戸郡 ○黒谷橋 戸郡岩井谷村ニアリ

○松林寺橋 戸郡新張村ニアリ往古此地ニ禪刹アリシ故ナリ ○今橋 戸郡小本曾村ニアリ ○四十九

橋 戸郡上切 ○七辻橋 吉成郡古川町ニアリ屋人云ク往古ハ此橋折テツキアリシ故ニ此名アリト云 ○千貫橋

戸郡横山 ○多田橋 戸郡吉野 ○坪橋 戸郡山田 ○大島橋 戸郡津町

○高原大橋 戸郡上往古此地江馬家領ノトキ棧道ニ作リハ三十余間アリ今ハ藤橋ニ造ル也 ○省川橋 戸郡

○折橋 戸郡朝浦

○私呼坂

○柿坂 益田郡少筒 ○行人坂 戸郡奥田 ○門坂 戸郡門坂 ○小

絲坂 大野郡春国村ニアリ往古小絲ト云フ陶師居住ノ地ナリ則チ小絲燒ト稱ス ○城坂 戸郡高山 ○御坊坂

上日 ○衣斐坂 上日 ○文右衛門坂 上日 ○小坂 上日 ○長坂 上日

○葛蒲坂 戸郡松之本 ○黒宮坂 戸郡三福寺 ○爺坂 戸郡町方

○雁坂 戸郡細敷 ○金坂 戸郡塩屋 ○大坂 吉成郡ハコ ○鴉

窠坂 戸郡角川 ○頌城坂 戸郡杉山

○私呼木

○瀬戸梅

益田郡瀬戸村

○圓座杉

同郡久野川村

枝二人座スル圓座ノ如ク
枝アリ是山神ノ居木アリト云

○枝重栗

同郡東政村
里人云ク若此枝葉ヲ裁リ挿ルモノマハ必ス

瀨戸
得ルト云

○圓座松

同郡中呂村
山ノ坊ニ

○唐木

同郡宮田村
詳中古カレテ今ハ十三里

云ク州内ニテニツクカ
ク木ト云テニ似タリト云

○王御堂櫻

同郡藤ノ花ニアリ
寺院部叢堂ノ下出ス

○逆杉

大野郡
里村白山

神祠ニアリ來由未
詳一本杉ト云ヘリ

○孔銀杏

同郡七日町村
寺ノ境内ニアリ

○千歳松

吉城郡
村ニアリ來由

赤詳其枝東西凡十二間
南北凡十三間余尤未也

○御影櫻

同郡吉田村
常蓮寺ノ境内ニアリ

○荒神松

同郡
長倉

村ニアリ
來由未詳

○私呼森

○屋形森

益田郡總島村
アリ來由未詳

○藤森

同郡宮田村
堂ノ境内ニアリ

○寺屋森

大野

郡江谷子村ニアリ寺屋ノ神祠
アリ或ハ権者ノ峯トモイフナリ

○稻置森

同村ニアリ
神祠アリ

○淨光寺森

同郡花里村ニアリ
寺屋也温古部ニ出ス

○天満森

同上
神祠ニ出ス

○總社森

同郡七日町村
ニアリ神祠

部ニ
出ス

○釜ノ森

同郡三福寺村
人云ク古昔盜賊此表

ニ入リシク終ニ出ス故ニ
盜人神ト云今ハ神祠シ

○薬師森

同郡山田村
茶師ノ住堂アリ

○八幡森

吉城郡
地本村

ニアリハ幡ノ初アリ
成人今世ノ表是也

○河伯森

同郡宮地村
神祠部ニ出ス又荒城ノ表子母ノ表ト云

○金桶

同郡金桶
村ニアリ

○岩井戸森

同郡岩井戸村
不動兩神アリ神祠部ニ出ス

○私呼水

○麝香清水

益田郡小坂町村
字射香谷ニアリ

○疝水

大野郡
石浦

人云ク疝アル人此水ニ以テ
是ヲ洗ハハ必ス平愈ストナリ

○大清水

同郡松方村
面村出羽カ平ノ崖中ノ水此所ニ涌

出スト
 ○白水 日郡平瀬村ニアリ此山間ノ水常ニ白シ地名ヲ白川郷ト云イ字ヲ
 大白川白水谷ト云ヘリ里人云ク加州白山神祠ヲ神供米ヲ洗フ
 水此後洞ニ流レ
 末ルト云ヘリ
 ○瓢箪清水 吉城郡八日町村大坂峠宇佐休ニアリ此峠甚ク
 水多シテ也里人云ク往昔弘法大師加持レテニ
 テ漏ルセシ靈水ト云
 ト云ヘリ瓢箪未詳

○私呼滝

○根尾滝 益田郡小坂町村ニアリ
 ○観音滝 日郡大内村ニアリ或云威應ノ滝里
 人云ク滝壺ノ岩壁ニ親世菩薩菩薩ノ尊
 容アリ通拜
 ○千尋滝 同上
 ○塩滝 同上
 ○石南滝 日郡青
 屋村ニ

アリ此地石南花
 多シ故ニ名トス
 ○八日町滝 大野郡八日町村ニアリ
 ○不動滝 吉城郡柏原
 村ニアリ

○不動滝 日郡殿村ニアリ里人云
 岩壁ニ不動ノ尊容アリ
 ○舊滝 日郡雙六
 村ニアリ
 ○阿房滝 日
 郡

平湯村ニアリ里人云ク古來口碑ニ傳フル處此滝高サ七十余尋アリ其滝
 壺甚ク深ク落來ル水ヲ吹返ス風空ウラ荒クレテ常ニ雨降ルカ如シト云フナリ
 龍滝 日郡龍鏡村ニアリ里人云ク比山神馬ニ乘リ滝ノ
 アタリヲ進行シテニウ故ニ通雲ノ音聞エルト云ヘリ

○私呼滝

○漆滝 益田郡三洞村ニアリ此洞窟ニ
 漆沉メリト云フ故ニ此早アリ
 ○駒滝 日郡上箇門村ニアリ里人
 云ク此地ニ鬘多カ故ト云フ

山アリ其山神常ニ此洞ニ
 出テ馬ヲ洗イタニウト云フ
 ○曲滝 日郡日影
 村ニアリ
 ○朴木滝 日郡中之者
 村ニアリ

龍宮滝 日郡淺井
 村ニアリ
 ○赤巖滝 日郡大西
 村ニアリ
 ○青木滝 日郡落合
 村ニアリ

四十九滝 日郡川上
 村ニアリ
 ○釜滝 日郡萩魚
 町ニアリ
 ○芋洗滝 日郡西上田
 村ニアリ

大滝 日郡小川
 村ニアリ
 ○畑佐滝 大野郡新宮村ニアリ畑
 佐ト云フ古城山ノ麓ナリ
 ○二面滝 日郡
 十島

村ニ
 ○二子滝 日郡石南
 村ニアリ
 ○経滝 日郡清
 村ニアリ
 ○藤滝 同上
 ○駒

洞 日郡宮村ニアリ洞ノ側ナリ
 岩ニ馬蹄ノ跡アル故此地号アリ
 ○入道滝 日郡冬野
 村ニアリ
 ○琴滝 日郡根
 方村ニ

アリ洞ノ側ニ琴ニ似タル岩アリ又道
 洞底鳴ルナリ琴ノ音ノ如シト云フ
 ○石南滝 日郡三谷村ニアリ此地
 石南花多シ故ニ此号アリ
 ○香

貝 日郡赤保木村ニアリ洞底ノ砂石
 光リテ音如シ故ニ此号アリ
 ○靱滝 吉城郡三川
 村ニアリ
 ○頼滝

日郡上廣瀬 ○安知女洞 日郡大無雁打野 ○正眼坊

洞 日郡岸奥村ニアリ洞ノ側ナル岩ニ ○貝洞 日郡加賀澤

雁洞 日郡羽根 ○瀑布洞 日郡高野村ニアリ洞底ノ破石

齋洞 日郡八日町村ニアリ里人云ク昔圓齋ト ○玄巖洞 日郡

山村ニアリ洞ノ側ニ地蔵ノ石佛アリ里人云ク ○光洞 日郡

古昔ヨリ毎歲七月十日夜洞底ヨリ龍燈ヲ捧ク ○蛇洞 日郡

吉筒原村ニアリ洞ノ側ニ魚鱗ノ ○私呼巖

鳴巖 益田郡三國村ニアリ路傍ニ大岩アリ其岩中常ニ流水ノ音アリテ止ムナ

重岩 日郡火打 ○不動川鳥帽子岩 日郡田口村蛇尾村ノ間ニアリ岩ノ形鳥帽

乳岩 日郡福來村ニアリ岩ニ乳頭ノ形アリ乳

牛岩 日郡大西村ト大野郡久ノ野村ノ境ニ

立岩 日郡立岩

鳥帽子岩 日郡赤

七夕岩 日郡五明村松ノ木村西山上ニ

三岩 日郡三川村ニアリ一石ニシテ三ツノ山

横山岩 日郡三川村ト上廣瀬村ノ間路傍ニアリ

乙姫岩 日郡三川村ニアリ岩ノ面ニ姫ノ形アリ

三禁岩 日郡下佐谷村ニアリ毎歲ノ

鴻岩 日郡赤

船岩 吉成郡船魚村ニ

黒岩 大野郡三福寺

岩 日郡落合村ニアリ雨鳥多ク此岩ニ集リ宿ス故ニ此号アリ

岩上ニ並テ出ツ里人云ク性古下然國ノ人有故テ當州ニ來リ此山洞ニカクレタリ旧里三
呂丁ツリ主ノ行衛ヲ尋テ諸州ニ巡リ適此州ニ來ルト云ヘトモ其人ニ遭スレテ三人トモニ終ニ
死セリ其亡魂ナシトシテ
○村木岩 同郡葛山村ニアリ方木ヲ
今世ニ性來ノ人見ルトセ
○壘岩 同上壘ヲ
積ニ重子
○箕岩 同郡長倉
タルニ似タリ
○足跡岩 同郡敷河村字足跡ニアリ則
岩面ニ大キク足跡ノ如キモノアリ

鯉岩 同郡二屋村ニアリ岩面ニ
莫ノ形ノ如キモノアリ
○金剛岩 同郡平井

○私呼石

○義仲腰懸石 益田郡日和田村ニアリ本曾義仲此地ニ記マテ云是飛洲
信州ノ境也義仲ハ先生義賢ノ男左馬頭朝日將軍ト稱セリ

○龜石 同郡三原村ニアリ其形
龜ニ似タリ故ニ此号アリ
○龍石 大野郡楠谷村ノ竜カ峯ニ
ニアリ

○江馬腰懸石 吉城郡八日町村ニアリ當郡義方ノ城主江馬常陸守
龜盛天正十年此地ニ於テ敗軍ノトキ此石ニ腰ヲカケテ

○蛤石 同郡高野村蛤ノ城跡ニアリ石高十尺二尺七寸圓凡上三
尺六寸中九尺四寸ハカリ其性堅ク色青ク鼠色白キ

○吹子石 同郡平岩村ノ小岩
同郡古川町圓光寺ノ
門前ニアリ其由来由不知

○割石 同郡割石村ニアリ此所山
ノ形吹子ノ
如シ其由来由未詳

○大石 同郡伊西村ニアリ
往古ノ人其由来由未詳

○雙六在 同郡雙六村ニアリ大石也里人
今ハ伊西也

○杖石 同郡長倉村ニアリ杖石
是ヲ高ルマハト云ハ必ス

○矢石 同郡葛山村ノ山間ニ於テ通岩ヲテ也
出ス

○私呼田

ト日シ形ハ
柳葉ノ如シ

國説ニ云ク飛驒ノ車田ト号シテ稲苗ヲ植ルニ在古
ヨリノ作法アリ其謂ヲハ里民モ知ラヌト云ヘトモ

古今其法ヲ闕ス由來アルヘキナリ也 ○車田 大野
 郡大八賀郷松木村ニアリ此田ニ苗ヲ植ル法ハ先ツ
 稻苗一把ヲ田ノ中央ニヲク夫ヨリ苗ヲ九ク巡リテ
 植レ也サナカラ菅笠ノ縫目ヲミルニ等シ里民ノ口
 碑ニ傳フル處古昔禁裡ノ御田地ヲハ佃田ト稱セリ
 御供ノ米ヲ作ル田ノ植ヤウサルトモ云ヘリ猶詳ナ
 ルニハ不及 ○飛驒横田 所在未詳 狂言執役之
 章句ニ 飛驒ノ横田ノ玉苗ヲシヨボリシヨボリト
 植テ行ク 按スルニ本土ノ田昌ノ字アサナ或ハ村ノ小
 名等ニモ横田ト云フモノ未知

物産

○村木名品 元通稱 瑕疵通稱
 本土ニ於テ古今代出ス處ノ村品ヲ載ス 村木ハ總名
 ナリ是ヲ分テイヌトキハ角物平物末口物吹ニ板子丸
 太也 瓦ニ修羅木等ノ号アリ 猶其一品毎ニ随フ處ノ
 雜品又多シ 詳ナルニハ不及 ○角物 凡テ大中小トモニ
 方木ニ作り長貳間以上何寸角何尺角ト稱ス是也 ○
 平物 凡テ大中小トモニ幅ト厚アリ長二間以上幅何寸
 厚何寸ト稱ス是也 ○末口物 凡テ大中小トモニ圓木ニ作り
 末口何尺ト稱ス是也 凡大中小トモニ末口物ト云小木ヲハ皮ヲ剥タル物ニ
 テ末口何寸ノ丸太ト云ヘリ 圓木ニ割リ作ルニ非ス 圓

木ニ作ルハ則十六面ニ作ルヲ法トス 以上ノ三品其木性ハ檜榿杵
椈松栗榿子桂也檜榿ヲ上品トス其餘ハ雜木ト云末口物
ノ外ハ角平物トモニ必ヌ末ノ中真ヲ去リ作ルヲ割木ト稱
シテ木製也其中真ヲ去ラス圓木ノ條ニテ作ルヲハ押取ト
云ヘリ雜製也 ○板子凡テ大中小トモニ幅ト厚アリ平
物ト同シ長六尺五寸ヲ法トス 其木性ハ檜榿杵黑部杵榿
松榿子ヲ用ユ又完料ト云モ同製也 ○修羅木凡テ
雜木ヲ以テ雜製ニ作ル材木也 是ハ上品ノ材或ハ末口
物等ノ大材ヲ出スニ用ル助木也 山洞嶮岨ノ地ニハ是ヲ
鋪テ通行シ或ハ岩石ニ當リ木ノ痛ムヘキニハ是ヲ以テ隔

ツ猶用法甚々多シ常ニ岩石ノ為ニ戰バシムル故ヲ以テ
修羅木ト稱シ來ルモノカ ○村木通稱 元伐 凡テ
山中ニ於テ諸木ヲ杵入ノ伐出スヲ云或ハ根伐杵取木取
トモ云ヘリ皆同稱也 ○元口 凡テ木ノ根ノ方ヲ云 ○
木末 凡テ木ノ末也末口ト云ニ同シ ○世止 元口末口トモニ
綱ヲ通スハキ疋ノ名也 ○頭巾 凡元末トモニ頭巾ノ形
ニ作ル也 世止頭巾トモニ其材木間尺ノ餘歩ナルモノ也
○卷鐵 大村ニ至ツテハ其木ノ元末ヲ鉄ヲ以テ卷クヲ云
是又間尺ノ餘歩タリ ○鍛疵通稱 箕腐 此鍛疵
ハ生木ノ時枝ノ折タル處ヨリ生ゼシ真ノ腐也 ○引板

生木ヲ伐放ストキアヤニツテ創ル末々真ヲ伐放サバル故
ニ真ハ根ノ方ニ止ニルヲイフ ○麥殼 虫ノクイタル穴ヲ云
麥殼ノ切ロノ如シ ○木子廻コノユミハリ 木目ニ自然ト水氣ヲ含ミテ
真ノハナレトスルヲイフ ○水割 木目離レ真離レタル
ヲ云フ ○紅ベニ 木性腐ルトキ木ノ色変スルヲ云フ ○飛腐
所ニ小腐出タルヲイフ ○石打 岩石ニ常リタル痕也
○明打 石打ニ似タルト云ヘトモ是ハ真ニトビキタルモノ也故
ニ折木ニ准ス ○懸外カケハッシ 曲アル木ヲ方木ニ作ルトテ墨繩
ヲ打ワタスニ曲レル所ニハ墨至ラズ ○乃太 懸外ト云フ
墨至ラザル處ニハ芥モ又至ラステ皮目残レリ是等其

始ノ寸歩ノ減スルヲ惜ム山人ノ私ヨリ生ゼリキズト云 ○
楡カドヒツク 邇カドヒツク 角平物トモニ自然ト捻タル如キ邪アル木ヲ云フ山人
ノ不功ナルモノ掌中正シカラザル故ニ不直ノ村トナレリ
瑕カドヒツク 疵トス ○日本鹿子国華萬葉集等飛川名物部ニ
圭桔ヲ載ス今作榉 ○榉木名品
本土ニ於テ伐出ス處ノ榉木ハ檜梶黒部ヲ出ス凡テ圓木ヲ
四ツニワツテ其真ヲ去ル木口ノ形扇ノ地紙ノ如シ長サ六
尺ヲ限り四尺ヲ終リトス其寸法ハ三方何十腹何寸ト云フ
大中小トモニ此法ヲ不測圓木ヲ四ツニ割ルニヨツテ三才アリ

中負ヲ去ルニヨツテ版アリ是ヲ古法トス又二方何寸甲何寸腹何寸ト云フモノアリ長ハ三方ノ法ト同レ是ハ圓木ヲ六ツニ割ハツニ割ニヨツテ丸右ヲ二方ト云イ背ヲ申ト云フ版ハ中負ノ方也是中古ノ法タリ猶雜裂ニ至ツテハ尾ト云フノ類其品多シ詳ナルニハ不及○基俊家集ニ篠ヲロス山川ニウキ沉ミ君ニ逢ヘキツレヲ待カテ以上按スルニ樽ハ字書ニ見エズ是中華ニ其木ナキヤ或ハ名稱異ニシテ知カタキモノカ又樽ハ字ヨ原ニアリ防無ノ切音杖樽桑ハ神木ナリト○新刊吾妻鏡卷第十大治六年七月十八日曰於橋本右大將家上洛之余下驛遊也等群恭有繁多賜物云々先之有御連歌賴朝

ハシモトソノ君ニハ何カワタスヘキ平景時

カハノツレテスキハヤ橋本ノ驛遠江國ニアリ○新刊吾妻鏡

卷第四十三十月十一日一内辰被定利賣直法條下曰

和賀江津村木事近年不法間依頼用造作被定其寸法

所謂樽長分ハ尺若七尺令不足者令點定之奉行人可

申子細之由云々

○村木樽木出佗州運漕通稱中綱又制

本土ノ山中ヨリ材木樽木ヲ佗州ニ出ス處ノ其次第ヲ

載ス○山出凡テ山中ヨリ材品ヲ出ス總名也○渡場

山中所ニ於テ伐出セルモノヲ其便宜ノ地ニ集ル處ヲ云

ナリ ○渡入 渡場ニ集メタルモノヲ初メテ谷川ニ入ルヲ云也 ○谷出^{タミクシ} 谷川ニ入レテ大河ニ至ルニテハ遠近ノ差別ナリ谷出ト云フ ○川下^{ナゲ} 大河ニ字メテ流シユク處ノ總名也是ヲ役スル人一日ニ流シ行クヘキ里數ヲ計リ其所ニ細ヲハリ止ルヲ牧ト云イ狩細ト云 ○川狩 川下共ニ曰稱也是岩石ニカ、リテ滯ルモノヲハ葛口ニテ悉ク求メ流シユクナリ是等山野ノ狩ニ准ヘイエル下俗ノ通稱也 ○管流^{カク} 是モ上ニ曰レ諸木流シユクアリサニ水上ニ管ヲ乱シタル如シト云フ下民ノ通稱也凡テ此州山間ノ流レ早ク岩石多クハ筏ヲ用ルコト叶ハズシテ古今斯ノ如シ猶

詳ナルハ不及 ○中細 益田郡下原郷下原町ニアリ是飛濃ノ国界タルカ故ニ河中ニ藤ノ細ヲ張り亘シ川下ノ諸木ヲ是ニ懸止メテ再ヒ負數ヲ改正スル處ノ本細是也稱^{ラツテ} 藤口藤ニテ造ル其周ハ尺有餘其長ハ九十余間アリ水上ニ亘ル所六十余間也其餘ハ兩岸ノ細^{アツテ} 株木細株巖ニ結ヒ固ムナリ猶水上ニ亘ル細ノ法下ニ載ル如シ ○網株木 岸上ニ樺ノ大木ヲ建テ杭木トス網ヲ是ニ卷テ其末ニ大石ノ置ク ○網株巖 岸上ニアル處ノ大嵩ナリ株木ト曰レ ○浮木 網ニ附ル處其數六十各長二間六寸角ノ材木ヲ用エ ○網

回筏 カシスイワタ

樽ヲ以テ筏ニ組網ノ所ニ附テ浮木ノ助木ト

セリ

○木履木 ホクリ

○押木 オシキ

○執柄木 シツブイ

○安由美 アユミ

木 以上ノ四品各村木ヲ用ユ悉ク網ニ附テ 梓ノ如クニ

造ル桶候口藤ヲ以テ結立ル也 ○箭木 網ノ上ニ建ル材

木也駒寄ト云フモノ、如シ是川下ノ時若満水シテ敷万ノ

諸材悉ク此中網ニ押カケルト云ヘトモ此箭木ニ盛上テ

大山ノ如ク成レリ 故ニ至ツテ 要村タリ ○箭頭卷

草網 箭木ノ頭ヲ繫ク網ヲ云フ ○胴絨草網 是

品ノ用材ヲ悉ク其初メ藤ヲ以テ本網ニ結ヒ附タルヲ

猶又草網ヲ用ヒ全ク繫キ固ムルヲ云フ ○扣草網

本網ニ幾筋モ附テ岸上ニ引ハル處ノ助カノ網ヲ云

フ也 以上中網ノ制如此則此所ニテ山中渡入ノ負敷ヲ

以テ流矢ノ有無ヲ改メ又元ノ如ク川下ニテ濃州加茂郡

下麻生ニ至ル 飛川下原ノ中網ヨリ濃州此所ニ後網ヲ儲ク其

木ヲ止メテ初メテ筏ニ組自是尾州智多郡白鳥湊ニ至リ

渡海ノ廻船ニ積ニ諸州ニ通用スル也 濃州下麻生ヨリ尾州白鳥湊ニテ川路凡

二十有餘里也

○筏制

筏ハ濃州下麻生ニテ初メテ組立ル也全ク飛州ノ業ニハ

アラ子ト古來飛駄筏ト稱ス其筏ヲ組テ乗ワタル人ヲサ

シテ筏士ト云フ 筏ノ大小ニヨリ 二人乗 三人乗アリ 凡テ筏ニ
 用ル處ノ藤並ニ用材ノ通稱ヲ載ス ○縫藤 ○腹帶
 藤 ○鈎帶藤 ○目結藤 ○引将子藤 以上ノ五品
 ヲ以テ木ヲ括カラミテ筏ニ組立ル藤ノ名目也 ○大木 ○
 檣束木 ○執柄木 ○虚木 ○檣曾木 以上ノ五品ハ
 筏ノ上ニ備フル用材也 ○番木 ○番板 以上ノ二品ハ
 筏ノ第一第二ヲ書ス同木数ヲ記セリ ○楫 筏ノ前
 後ニ載挺立リ木性ハ檣ヲ最上トス但シ船ニ用ル楫ニハ
 非ス櫂也 ○楫枕木 楫ノ臺木也

○白木品類

本土ニ於テ白木ト稱スルモノハ 材木 榑木 板子 等トハ
 別種ニシテ各其品ノ下地ナルモノ也 故ニ枋タルニ割タ
 ルニ出ヌモノ、總名也 木性ハ檣 榑 柁 杉 朴 榎 楡 其 余
 ノ雜木ヲ以テ造リ出セリ 古來山中ノ民男 女トモニ生業
 ト成シ來ルル久シ其品類名目ヲノス ○赤土井板
 ○土井底板 ○千枚板 ○三千枚板 ○膏板 ○膏
 榑板 ○打割板 ○枋板 ○半切枋板 ○天井枋板
 ○大縁木 ○小縁木 ○輪木 ○
 淘汰木 以上四品 枋 榑 ノタ
 以上十品 寸尺 等 各 古 法 アリ
 凡テ屋上ノ膏板 天井ノ枝アリ
 ○閉折敷 山折 歌也 ○室蓋 蓋 麩 ○檣
 筐木 戸障子ノ ○木舞木 竹之ヲ
 故ニホテ

ワリ竹ノ ○模皮 模ノ木 皮ナリ ○白木 立白轉木唐ニ 作ルヘキ木也 ○引鉄木

鉄ノ柄ニ 作ル木也 ○箸木 食用ノ 箸木也 ○二面楊枝木 樽ノ枝ヲ用ニ本ノ 色ハ白シ莫ハ赤シ ○桶

木 小大ノ桶ニ作ル 一ヘキ下地ナリ ○朴箱木 腰カノヤツニ 用ニ木也 ○木地梳 食用梳ノ 木地ナリ ○徒然

單文段鉄 二百 亦三 日アル人ノ 許ニテ琵琶法師ノ物語ヲ聞カ

レトニビハラ召ヨセタルニザウノヒトツヲチタリシカハ作りテ

ツケヨト云フニアル男ノ中ニアシカラズト見エルガ古キヒサ

ツノ柄アルヤナドイフヲ 乃至 ヒサクノ柄ハヒモノ木トカヤイヒ

テヨカラズモノニトソアル人ハ仰ラレシ 註云ヒモノ木

樽物師ノツカフ木也白木ト云フモノ也 以上 按スルニ白木ト

云フハ凡テ物ノ木也又下地ト云フノ心鉄或云柄杓ノ柄ハ死刑

ニ用ル法アルトナリ故ニ本文ニヨカラヌモソト出タルニヤ

○楮 カク 造紙各品

本土ニ於テ楮ヲ作ルヤ一般ナラス多ク山方ノ村里ニ

アリ造紙ハ他州ニ出スニ非ス国用足レルノニ ○無雁紙

吉城郡小島御 小鷹利御ヨリ出ル ○不端切紙 同上 ○大切紙 吉城郡小鷹利 御ヨリ出ル ○

小切紙 同上 ○大長紙 同上 ○杉原紙 同上 ○大高紙 タケタツ

吉城郡高 魚御ヨリ出ル ○益田紙 益田郡中 ヲリ出ル ○竹魚紙 同上 ○高山紙 大野 郡

○蓄蚕 花通稱附 種子各品

本土ニ於テ蚕ヲ養フハ毎歳ハ十八夜ヲ 期トス種子ハ

卯ヲ紙ニ産タルモノ是也此卯紙ヲ室蓋ニ入レヨリ

蓋ヲ覆ヒテ衣服ニ包ミ爐邊ニ置ケリ凡七八日ヲ一テ卵
字リ出ツ是蚕也尤其地ノ寒暖ニヨリテ日數十四五日ホ
ドノ遲速アリ猶養フ處ノ通稱ヲ載ス ○一番掃 ○
二番掃 ○三番掃 以上ノ稱ハ紙上ノ卵ノ字リ出ル
一般ナラス故ニ先リ字タル鳥ノ羽ヲ以テ別ノ器ニ掃
移スヲ云ヘリ其羽ハ時鳥ノ羽ヲ最上トス又雌メ親オス子ノ
羽ヲモ用エ ○桑水 蚕生シタル其初メハ桑ノ芽ヲ採
テ養フヲ云フ ○荅 ツトム 蚕生シテ五日ホドヲ經テ桑ヲモ
不食惱ムヲツボト云イ又衣ヲ脱トモ云フ此時空蟬ウツセミノ
如クニ皮ヲ脱出ル一三度也 是眠ルナルニ ○一起衣ヒトツキナ

脱出ル一三度是ヲ一起ヒトツキ二起三起トノフ ○底一起ヨリ後
ハ蚕ヲ入ル處ノ器ニ糞多シ是ヲトリ捨ルヲ底ヲトルト云フ
ナリ ○庭起 三起ノ後ヲ云フ ○責桑 庭起ニ
テハ桑ノ葉ヲ刺ミテ養ヘリ其後ハ葉ヲ刺ニス五日ホド
養フヲ責ルト云フ ○雇 責桑ニ至ツテ蚕肥満ツ既
ニ窠ヲ造ルヘキ出ヲハ撰テ別ノ器ニ移スヲ云フ ○鋪
別器ノ中ニハ木ノ枝或ハ藁ヲ鋪フ云ヘリ是ニ夕ヨリテ
窠ヲ造ルタメ也 ○窠搔 敷タル枝葉又藁等ニ夕ヨリ
テ虫ノ口ヨリ糸ヲ吐窠ヲ作ルヲ云フ ○親窠搔一
凡三日ホドニテ終ル是親ナリ其出一匹ニテ作ルヲ小親

ト稱ス上品也二虫或ハ三虫ニテ作ルヲ大親ト云フ中下品トスル也 ○親盛^{ミユラモル} 其一家ノ親ヲ一所ニ集ムルヲ祝シ

テ盛ト云ヘリ其後日ニ干乾ス一凡三日ホドヲヘテ糸ニ

引キ綿ニ作レリ日ニ干スハ親中ノ虫ヲ殺スタメ也斯クイ

タサレハ親中ヨリ食イ殺リテ出ヅ其親ハ必ス性弱ク

光澤ヲ失イテ用ルニ足ラガル也 ○春蚕子種類名目

金柑子 大藤五^{ヲトケ} 大日野 小日野 金丸

石丸 清光 森林 越前 近江

綿親 以上十一種アリ初メ其種子ヲ得ルニハ親ノ性ヨキモ

ノヲ撰ミ器ニ入レ藜ノ葉ヲ上ニ覆エリ日ヲ經スミテ親中ノ

虫親ヲ破リテ出ル處白キ蝶ナリ是ヲ因名比^ヒ久ト云フ

雌雄アリ則器ノ底ニ白紙ヲシキテ其雌雄ヲ入レ置ケハ

悉ク紙上ニ卵ヲ産メリ産終レハ蝶ハ雌雄トモニ死セリ

尤不食不飲也 ○夏蚕子種類 小瀬^{コノ} 熊

日野 越中 以上四種アリ其種子ヲ得ル次芽ハ

同法ナリト云ヘトモ前年ノ種子ヲ此夏用ルニハ非サル

ナリ先ツ前年ノ夏蚕種子ヲ以テ春蚕ノ時同ク養イ

テ親ヲトリ其親ヨリ得タル種子ヲ以テ則其夏養ヘリ

是春夏兩蚕ノ種子ノ異斯ノ如シ猶親ノ大小善惡

等ハ絲綿ノ糸下ニ出ス ○沙石集曰 世ノ中ハ思ヒ

ミダレテ夏引ノイトハヌホトヅクヤシカリケリ ○日本
 紀曰雄略天皇命螺蠟スガム聚国内蚕 ○續日本紀曰
 和同七年二月辛丑始令出羽国養蚕 ○本細蚕
 病風死其色白故自死者名白殭蚕 死而不再卷者
 曰原蚕 奈都蚕屎曰沙皮曰蛻麿曰繭 未蛹曰蛻音蛾
 曰羅卯曰蛻蚕初出曰蚘音苗蚕紙曰連
 其種類甚多有大小白烏斑色之異属陽喜燥惡湿
 食而不飲三眠三起二十七日而老自卯出為蚘自
 蚘蛻而為蚕蚕而繭之而蛹之而蠶之而卵之而復
 蚘

○絲糸綿附飛驒細涼袴之制

本土ニ於テ親ヲ絲ニ引ハ蚕子ノ糞ヲ燒其灰汁ヲ以
 テ親ヲ糞ル程能キ時ニ竹ノ箸ヲ入レ是ヲ和レハ自ら
 絲ノ口箸ニカ、リ出ルヲ獲ニカケテ引立ル也凡テ婦女ノ
 業トス猶下ニ載ル如シ ○小絲是小親ヲ用ニ親中ノ
 虫一ツ小粒ナルモノ也性強ク光澤ヨク然モ節ナシ
 上品トス ○太絲是大親ヲ用ニ親中ノ虫二ツ或ハ
 三ツ大粒也其性曾テ小絲ニ及ヌ尤光澤劣リ節アリ
 中下品トス 按スルニ一虫ノ親ハ小粒ト云ヘトモ絲目多
 クシテ大粒ニ等シ是虫ノ生得剛健ニシテ飽カテ用イヌ

一親ヲ造ルナルヘシ性強ク潔白ニシテ光澤宜ク節生セ
サル也又二虫三虫ノ親ハ大粒ナリト云ヘトモ絲目少ナケレ
ハ小粒ニ等シ必ス性弱ク光澤少クシテ節多シ是等虫
ノ生得虚弱ニテ他カヲ用イテ一親ヲ造リ出ヌニヤ共ニ
未分明又此節ノ生スルト云フ一其故不審疑ヲラクハ
蚕ノ口ヨリ絲ヲ吐クニ二虫三虫ノトキハ虫ノ口自然ト行
合イテ其所ニ至ツテ必ス節トナルカ一虫ノ親ニフシナキ
ヲ思ハハナリ ○真綿 凡テ大親或ハ綿親ヲ用ユ是
ヲ綿ニ造ルハ親ヲ煮ル一絲ノ法ニ同シ其煮タル處ノ
親ヲ破リ中ナル虫ヲ捨テ廣ク延テ幾ツモ重子圓キ

版ニカケテ綿一疋ノ形ヲ造レリ仍テ是ヲ版綿ト云イ
臂綿トモ云ヘリ ○飛驒細 二品アリ一ツハ諸細ト云フ
縦横トモニ綿絲ヲ用イ各摺絲ナリ又一ツハ大細ト云フ
縦ハ本絲ヲ用イ横ハ綿糸也 梅スルニ八丈ノ号未解庭
副往來ニ尾張ハ大ト出タリ近國ユニ是等ヲニナヒ
タルカ今世ハ尾州ニモ八丈ト稱スルモノナシ後世廢セシモ
ノ成ルカ ○涼袴 飛驒平ト云フ
○批日細工
本土ニ於テ批目ト云フハ榎木ノ版目ヲ用イ其批目ヲ
顯シ斲ヲ用イスシテ作り出ヌ木地或ハ溜塗ヲ以テ用ユ古

來國産ノ一種タリ中古ニテハ領主毎歳東都ニ貢獻セ

リ今ハ其下絶ス古來ノ品三種ナリ下ニ出ス ○湯桶湯蓋也

○片口火次也 ○麴桶水コホ也 按スルニ其權輿未詳疑フラクハ

金次領國ノ時宗和居士ノ好奇ヨリ出ルモノナルニ宗和ハ

可重ノ長子從五位下飛騨寺重道是也後有又近世ハ此三品ニ限ラ

故布京師ニ閑居ス茶道ニ委シ以上ノ三品宗和形ト云又近世ハ此三品ニ限ラ

又人ノ好ミニ應レテ外ノ品ヲモ造リ出セルト也

○茶 本土ニ於テ製スル處ノ茶也其出所ヲ載ス ○柏本

益田郡萩原郷中呂村竜澤山禪昌禪寺製 ○松本

月部下原郷中切村要仲山玉竜禪寺製 ○亀井 月郡

月郡中津原村神龜山萬福禪寺製 ○下山 月郡馬

頼郷ノ村里ニ於テ製ス

○藍 本土ニ於テ作ル處ノ藍也大野郡河内郷吉城郡高

原郷ノ村里ニアリ國用足レルト云其性宜シ

○鷹イタタキ 本土ヨリ出ス處 鷹ノ窠鷹也古來國産ノ第一タリ是

他州ヨリ來ルニハ非ス本土住來ノ鳥ナル故ニ俗呼ニテ

窠親ト云フ猶通稱ヲノス ○ホエワタシ 窠ヲカケ

ルト也春ノ彼岸ヲ始メトス ○卯 産ヲ凡四月ノ

節ヨリ中ノ前後ニ及ヘリ卯ノ數一ツヨリ五ツニ至ル ○
カイヲワル 卯ノ字ルヲ云フ凡日數三十三日ニテ生ス ○窠
下^コ窠中ヨリ^コ下ハ尾羽ノ一生半ヲ見ル時ヲ期トス故ニ
五月ノ半ヲ要トセリ然レトモ年一定ナラス ○窠廻
窠コボレトモイヘリ 窠立ト曰レ ○渡鷹 是大鷹鷲
其餘ノ小鷹毎歲秋ノ彼岸日土旺ノ頃他州ヨリ來ルヲ
云フ也猶詳ナルニ及ヌ又古昔此州ニ於テ大鷹巢ヲカケ
巢鷹ニツヲ得タルト云フ仍テ其山ヲ大鷹山ト稱セリ年
代未詳

○金銀銅鉛

本土ニ於テ金銀銅鉛山ハ大野郡白川郷吉城郡高原
郷ノ山中ニアリ各古昔掘出ヌ處ノ跡也其初メノ年代
未詳終ルハ寛永年中ト聞エリ今世ニ其道ニ携ル
族是ヲ試ミ勤ムルト云ヘトモ未其所ヲ得サル也

○柴薪 附 固名

本土常用ノ薪也通稱ヲ載ス ○柴 柴木ト云イ
穂枝ト云フ又穂木トモ云ヘリ凡テ枝葉トモニ用ル小
木也他州ニテ鹿朶ト云フニ曰レ ○薪 木口ト云イ
楯ト云フ又春木ト云ヘリ其ニ總名真木ト稱ス其木口
ト楯ハ太ク短ク作ル春木ハ細ク長シ

○炭

本土常用ノ炭也吉城郡ノ山中ニ炭電アリ凡テ
雜木ヲ以テ燒出ス其性甚々輕柔也国用タレルノミ

○古今藥州 荒名品 附 国名

本土古昔ノ藥草九種アリ 延喜式卷第七
典藥寮貢之條下曰飛騨国九種 芍藥ハクヤク 牡丹ハクヤク
當歸トウキ 十斤 菴朮アムツ 子ハクヤク 白朮ハクヤク 十斤 藜蘆ハクヤク 十斤 牡蠣ハクヤク 十斤
白礬石ハクヤク 一ハクヤク 猪蹄二具 羚羊角ハクヤク 一具 以上按スルニ牡蠣
作ハクヤク 杜梨ハクヤク 宜作ハクヤク 蒸ハクヤク 又古來国人ノ血留藥ト稱スルモノニ
種アリ一ツハ木腸ハクヤク ト云フ是ハクヤク 榎ノ木ノ中真ニアルモノニテ白

キ草ノ如シ榎ノ木毎ニアルニハ非ズ甚々稀有ノモノ也一ツハ
石腸ト云フ山中岩石ノ間ニ生ス其色赤ク黒シ煤ノ如キ苔
也一ツハウシモト云フ山中ノ高上ニ自然ト吹出スモノニテ其
色鉛ノ如ク其性水銀ニ似タリ 各來由未詳 ○本土

今世ノ藥草 九種アリ 下ニ出ス 葶藶ハクヤク 地榆ハクヤク
遠志ハクヤク 竜胆ハクヤク 比五味子ハクヤク 海桐皮ハクヤク 鶴虱ハクヤク
薑ハクヤク 白頭翁ハクヤク 什麻ハクヤク 細辛ハクヤク 羌活ハクヤク
淫羊藿ハクヤク 菟絲子ハクヤク 節人參ハクヤク 蒼朮ハクヤク 天南星ハクヤク
射干ハクヤク 草烏頭ハクヤク 藏靈仙ハクヤク 以上九種ハ享保年
中藥州ノ一ツヲ奉ゼシ人此州ニ來リ普ク撰ハクヤク 出シ村民

教工知ラシムル處是也 尤未廣ク世ニ行ハルニハ非ス

○焰硝

本土ニ於テ焰硝ヲ出ス地ハ大野郡白川郷吉城郡小
鷹利郷小島郷等ニアリ民家ノ土ヲ以テ製法セリ
其掘穿タル跡ハ科穀蓬草多葉粉ノ莖等ヲ埋メ
リ凡三四年ヲ経テ又其土ヲ以テ製ス ○五焰硝
製法ハ土ヲ能ク細末シテ篩ヲ以テフルイ水ニ入レ甑ニテ
ニ返漉テ其水ヲ釜ニ入レ半減ニ剪シ是ヲ桶ニ移シ置
ク煮テ後焰硝沈ミテ桶ノ底ニ氷ノ如キモノアリ又是ヲ碎
テ水ニ和シ前ノ如クニ返漉テ剪ズルニ始メ如ク成シテ

殺之... 是の... 七未廣... 世... 行... 二八...

○焙硝

本土... 於... 焙硝... 出... 地... 大野郡... 白河... 郡... 吉... 郡...
鷹利... 郡... 小島... 郡... 等... 了... 了... 民家... 土... 以... 製... 法...
其... 塚... 穿... 之... 跡... 不... 科... 段... 運... 車... 多...
其... 凡... 三... 四... 年... 經... 又... 其... 土... 以... 製...
製... 法... 上... 記... 柳... 葉... 之... 節... 以... 水... 入... 之...
二... 區... 流... 之... 其... 水... 之... 一... 日... 成... 之... 是... 之... 極... 其...
以... 煮... 之... 情... 緒... 甚... 然... 之... 情... 緒... 甚... 然... 之... 情... 緒... 甚... 然...
之... 水... 之... 情... 緒... 甚... 然... 之... 情... 緒... 甚... 然... 之... 情... 緒... 甚... 然...

味丹

○製硝

